

1 乳用牛

(1) 飼養戸数・頭数

平成28年2月1日現在（以下「平成28年」という。）の全国の乳用牛の飼養戸数は1万7,000戸で、廃業等により前年に比べて700戸（4.0%）減少した。

飼養頭数は134万5,000頭で、前年に比べて2万6,000頭（1.9%）減少した。飼養頭数の内訳をみると、経産牛は87万1,000頭で前年に比べて1,300頭（0.1%）増加し、未經産牛は47万4,100頭で前年に比べて2万7,500頭（5.5%）減少した。

なお、1戸当たり飼養頭数は79.1頭で、前年に比べて1.6頭増加した。

図1 乳用牛の飼養戸数・頭数の推移

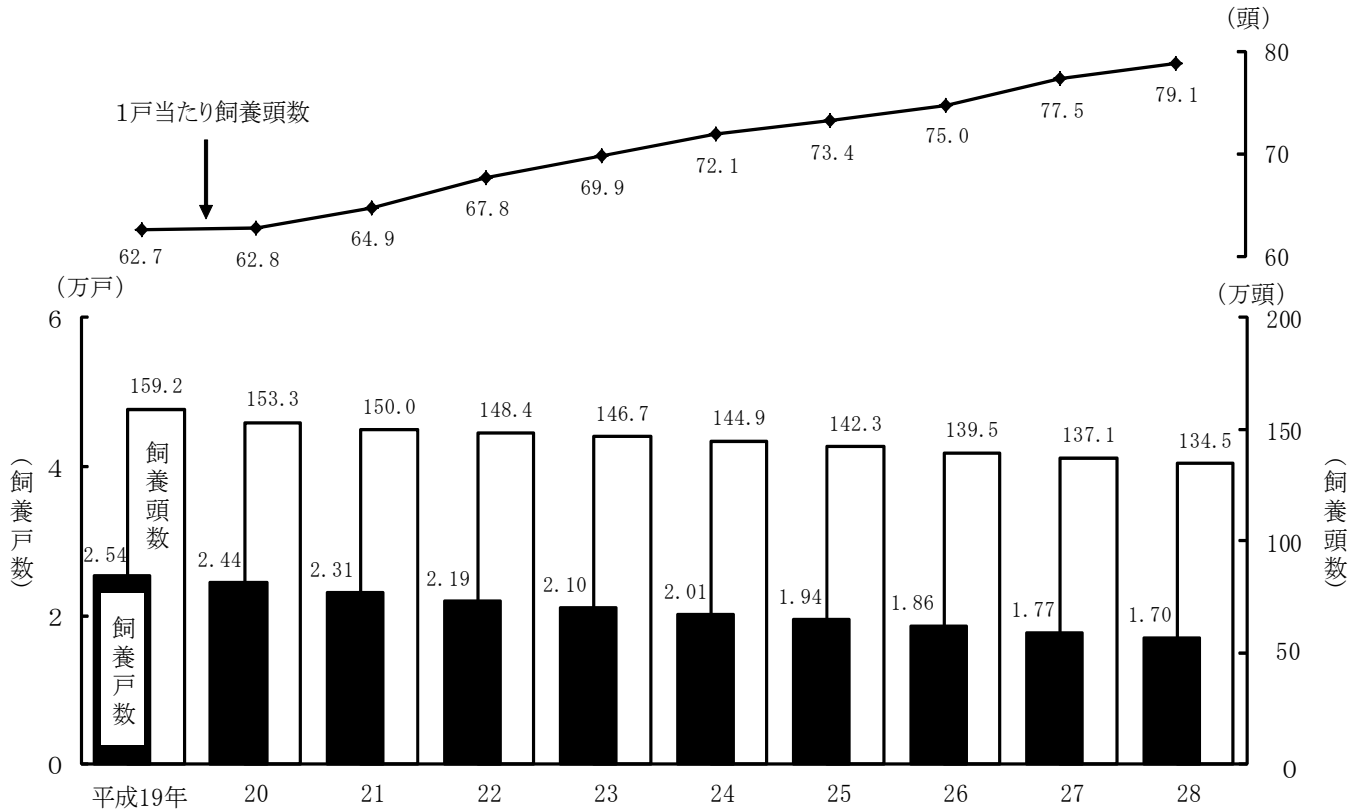


表1 乳用牛の飼養戸数・飼養頭数

区分	飼養戸数	飼養頭数					1戸当たり飼養頭数
		計	経産牛			未經産牛	
			小計	搾乳牛	乾乳牛		
実数	戸	千頭	千頭	千頭	千頭	千頭	頭
平成26年	18,600	1,395.0	893.4	772.5	121.0	501.2	75.0
27	17,700	1,371.0	869.7	750.1	119.6	501.6	77.5
28	17,000	1,345.0	871.0	751.7	119.3	474.1	79.1
対前年比							
28/27 (%)	96.0	98.1	100.1	100.2	99.7	94.5	-
構成比							
平成26年 (%)	-	100.0	64.0	55.4	8.7	35.9	-
27	-	100.0	63.4	54.7	8.7	36.6	-
28	-	100.0	64.8	55.9	8.9	35.2	-

注： 数値については、四捨五入のため合計と内訳の計が一致しないことがある（四捨五入の方法については11ページを参照。以下表17まで同じ。）

(2) 成畜（満2歳以上の牛）飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

乳用牛の飼養戸数・頭数を成畜（満2歳以上の牛）飼養頭数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。以下(3)及び(4)において同じ。）にみると、飼養戸数は前年に比べて100頭以上の階層で増加、80～99頭が前年並みであったが、これ以外の階層では減少した。

また、飼養頭数は100頭以上及び子畜のみの階層を除く全ての階層で減少した。

なお、成畜飼養頭数規模別の飼養頭数割合は、100頭以上の階層が約4割を占めている。

図2 乳用牛の成畜飼養頭数規模別飼養戸数・頭数の構成比

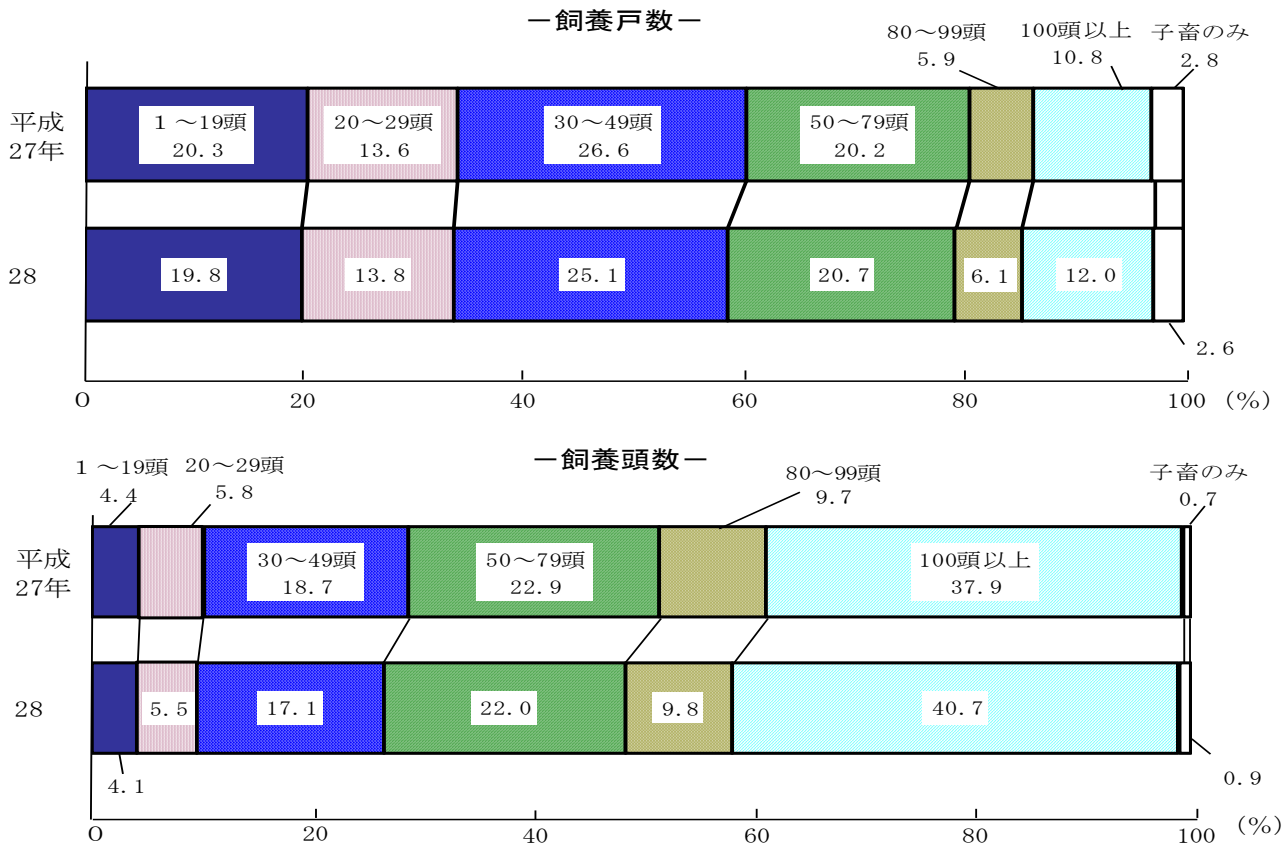


表2 乳用牛の成畜飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

区分	単位	計	成畜飼養頭数規模								子畜のみ	
			小計	1～19頭	20～29	30～49	50～79	80～99	100頭以上	300頭以上		
飼養戸数												
実数	平成27年	戸	17,400	16,900	3,530	2,370	4,630	3,520	1,020	1,880	255	490
	28	〃	16,700	16,300	3,300	2,300	4,200	3,460	1,020	2,010	234	428
対前年比	28/27	%	96.0	96.4	93.5	97.0	90.7	98.3	100.0	106.9	91.8	87.3
構成比	平成27年	〃	100.0	97.1	20.3	13.6	26.6	20.2	5.9	10.8	1.5	2.8
	28	〃	100.0	97.6	19.8	13.8	25.1	20.7	6.1	12.0	1.4	2.6
飼養頭数												
実数	平成27年	千頭	1,335.0	1,325.0	59.0	77.0	249.1	305.2	129.0	505.9	148.1	9.3
	28	〃	1,309.0	1,298.0	53.2	72.4	224.0	287.6	128.5	532.4	163.9	11.3
対前年比	28/27	%	98.1	98.0	90.2	94.0	89.9	94.2	99.6	105.2	110.7	121.5
構成比	平成27年	〃	100.0	99.3	4.4	5.8	18.7	22.9	9.7	37.9	11.1	0.7
	28	〃	100.0	99.2	4.1	5.5	17.1	22.0	9.8	40.7	12.5	0.9

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

### (3) 乳用牛飼養者の飼料作物作付戸数と実面積の状況

乳用牛飼養者のうち、調査期日前の1年間（平成27年2月1日から平成28年1月31日まで。以下同じ。）に飼料作物を作付けした戸数は1万4,800戸で、乳用牛飼養者の88.6%となっており、飼料作物作付実面積は48万2,000haとなっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道、東北及び九州において乳用牛飼養者の9割以上が飼料作物を作付けしている。

図3 乳用牛飼養者の飼料作物作付戸数割合（全国農業地域別）

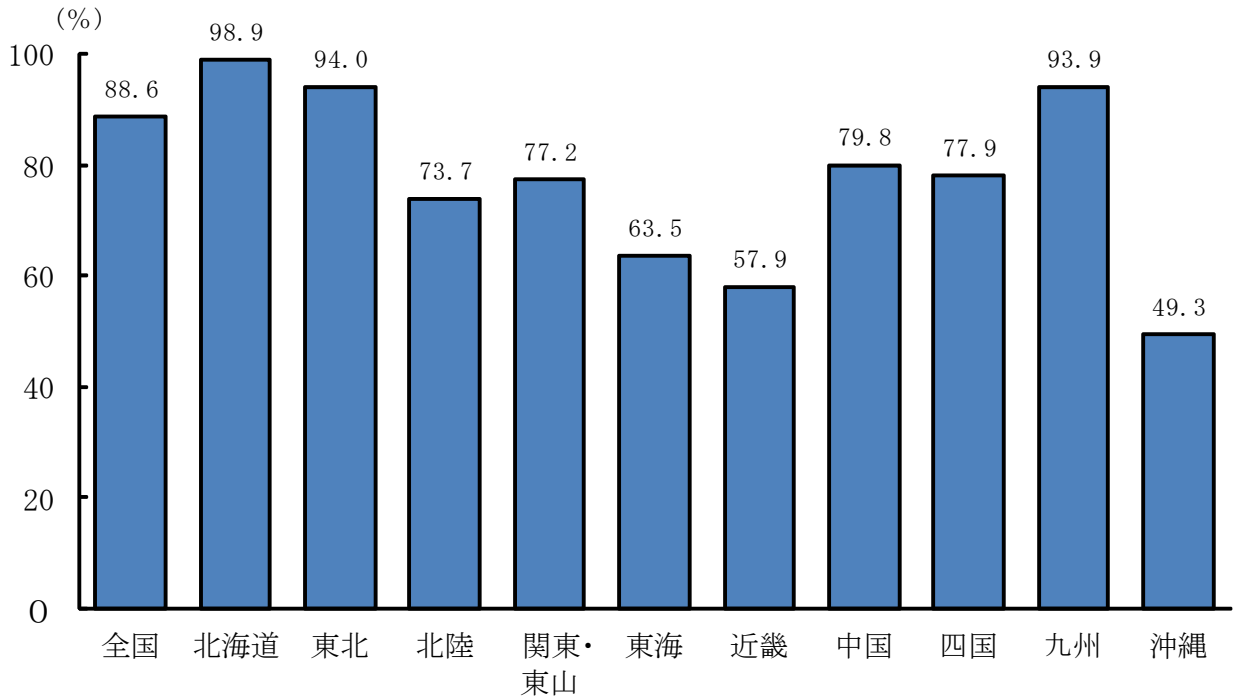


表3 乳用牛飼養者の飼料作物作付戸数・実面積（全国農業地域別）

区 分	飼養戸数	飼料作物作付戸数	飼料作物作付戸数割合	経営耕地面積	飼料作物作付実面積
	戸	戸	%	ha	ha
全 国	16,700	14,800	88.6	510,500	482,000
北 海 道	6,440	6,370	98.9	436,700	416,600
東 北 北	2,510	2,360	94.0	31,800	28,100
陸	353	260	73.7	2,240	1,840
関 東 ・ 東 山	3,330	2,570	77.2	17,900	15,200
東 海	739	469	63.5	2,410	2,190
近 畿	534	309	57.9	1,220	920
中 国	747	596	79.8	4,600	4,040
四 国	380	296	77.9	1,080	910
九 州	1,630	1,530	93.9	12,400	12,100
沖 縄	73	36	49.3	180	130

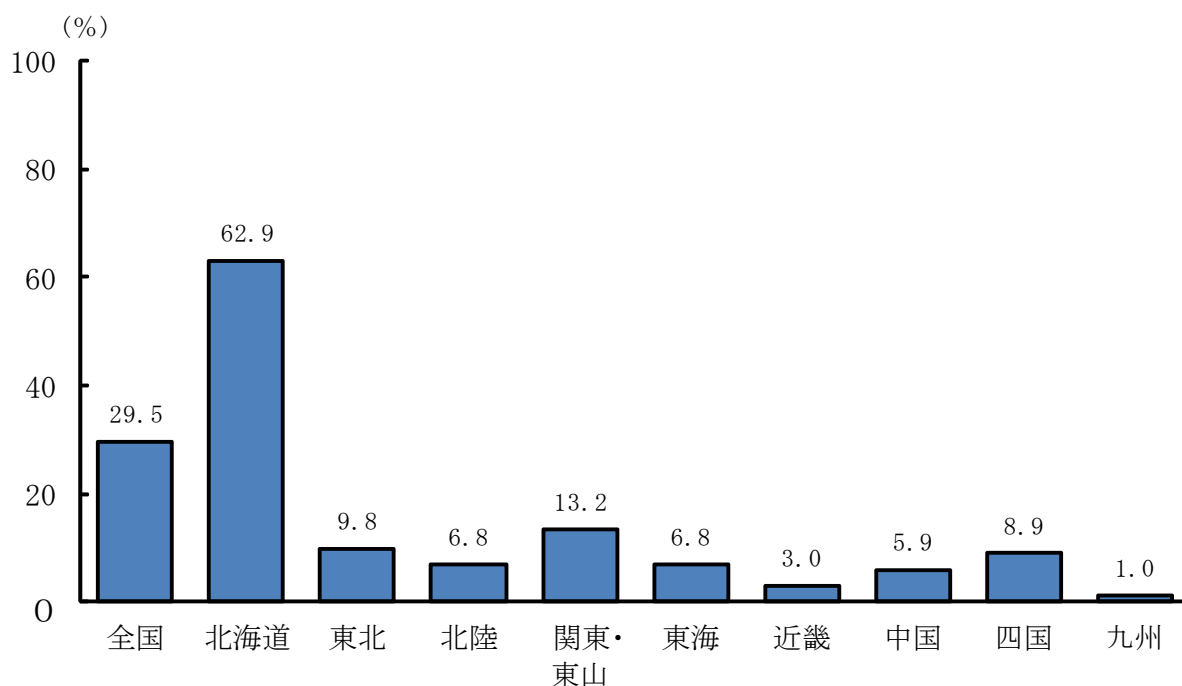
注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

## (4) 乳用牛の放牧状況

乳用牛飼養者のうち、調査期直前の1年間に乳用牛の放牧を行った戸数は4,920戸で、乳用牛飼養者の29.5%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道では約6割の乳用牛飼養者が放牧を行っており、その他の地域を大きく上回っている。

図4 乳用牛飼養者の放牧実施戸数割合（全国農業地域別）



注：沖縄については、放牧している飼養者がいないため、表章していない。

表4 乳用牛の放牧状況（全国農業地域別）

区分	飼養戸数	放牧をしている戸数	放牧実施戸数割合	放牧頭数
	戸	戸	%	頭
全国	16,700	4,920	29.5	231,100
北海道	6,440	4,050	62.9	217,200
東北	2,510	247	9.8	4,920
北陸	353	24	6.8	150
関東・東山	3,330	439	13.2	5,480
東海	739	50	6.8	1,110
近畿	534	16	3.0	240
中国	747	44	5.9	720
四国	380	34	8.9	570
九州	1,630	16	1.0	710
沖縄	73	-	-	-

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

2 肉用牛

(1) 飼養戸数・頭数

平成28年の全国の肉用牛の飼養戸数は5万1,900戸で、廃業等により前年に比べて2,500戸(4.6%)減少した。

飼養頭数は247万9,000頭で、前年に比べて1万頭(0.4%)減少した。飼養頭数の内訳をみると、肉用種は164万2,000頭で前年に比べて1万9,000頭(1.1%)減少し、乳用種は83万7,100頭で前年に比べて9,400頭(1.1%)増加した。

また、乳用種のうち、ホルスタイン種他は33万1,800頭で前年に比べて1万3,500頭(3.9%)減少し、交雑種(F1牛、F1クロス牛)は50万5,300頭で前年に比べて2万2,900頭(4.7%)増加した。

なお、1戸当たり飼養頭数は、47.8頭で前年に比べて2.0頭増加した。

図5 肉用牛の飼養戸数・頭数の推移

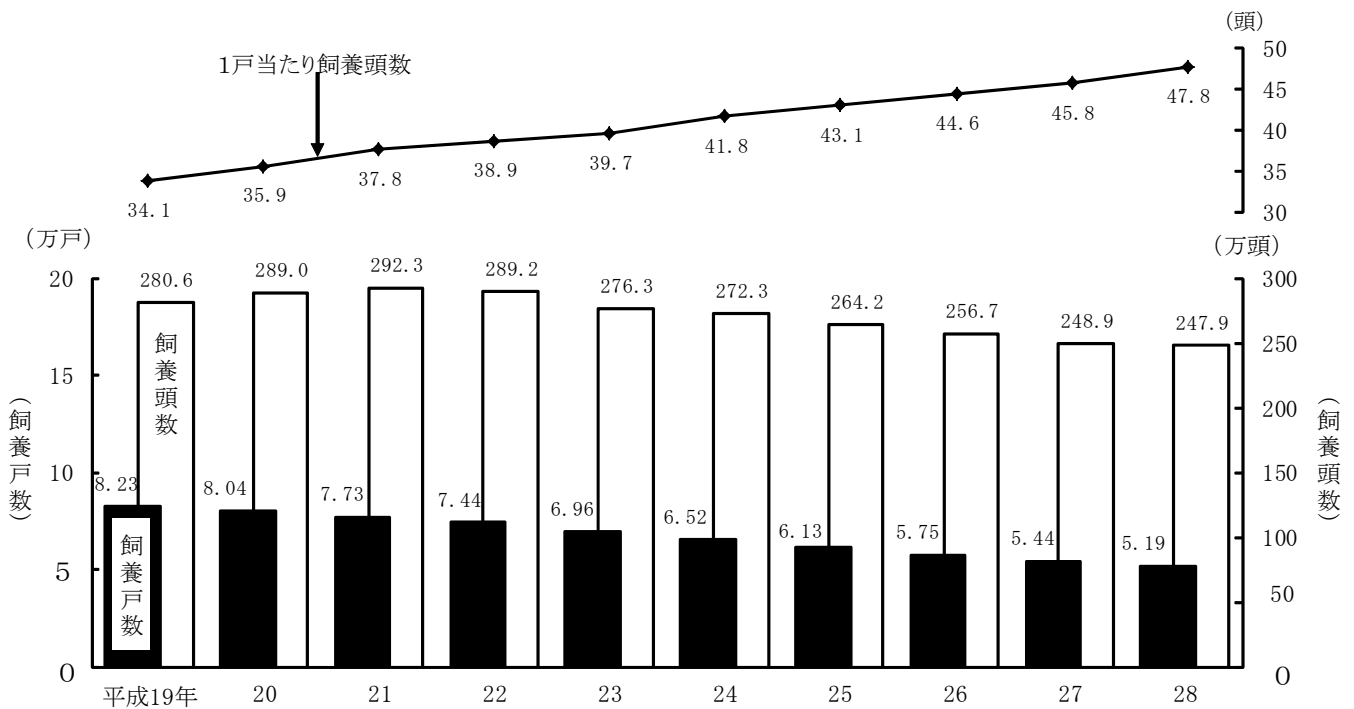


表5 肉用牛の飼養戸数・頭数

区分	飼養戸数	飼 養 頭 数					1戸当たり飼養頭数
		計	肉用種	乳 用 種			
				小 計	ホルスタイン種他	交雑種	
戸	千頭	千頭	千頭	千頭	千頭	頭	
実 数							
平成26年	57,500	2,567.0	1,716.0	851.4	367.5	483.9	44.6
27	54,400	2,489.0	1,661.0	827.7	345.3	482.4	45.8
28	51,900	2,479.0	1,642.0	837.1	331.8	505.3	47.8
対前年比							
28/27 (%)	95.4	99.6	98.9	101.1	96.1	104.7	-
構 成 比							
平成26年 (%)	-	100.0	66.8	33.2	14.3	18.9	-
27	-	100.0	66.7	33.3	13.9	19.4	-
28	-	100.0	66.2	33.8	13.4	20.4	-

(2) 総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

ア 総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

総飼養頭数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。以下イ及びウ並びに(3)及び(4)において同じ。）にみると、飼養戸数は前年に比べて1～4頭及び10～19頭の階層で減少したものの、これ以外の階層では増加した。飼養頭数については、100～199頭の階層で増加したものの、これ以外の階層では減少した。

また、総飼養頭数規模別の飼養頭数割合は200頭以上の階層で飼養頭数の約5割を占めている。

図6 肉用牛の総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数の構成比

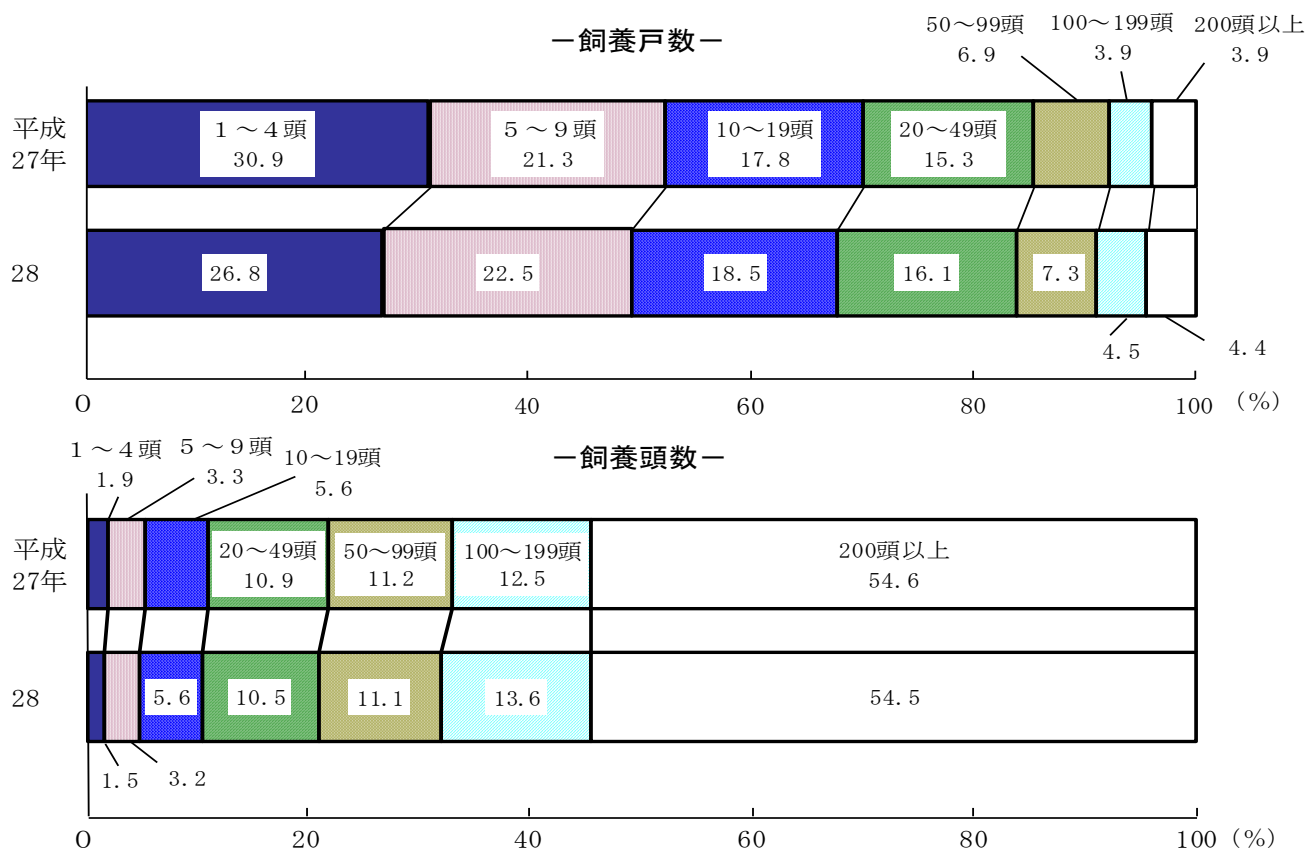


表6 肉用牛の総飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

区分	単位	総飼養頭数規模									
		計	1～4頭	5～9	10～19	20～49	50～99	100～199	200頭以上	500頭以上	
飼養戸数	実数 平成27年	戸	54,000	16,700	11,500	9,610	8,260	3,730	2,130	2,110	720
	28	〃	51,500	13,800	11,600	9,510	8,310	3,780	2,310	2,280	714
	対前年比 28/27	%	95.4	82.6	100.9	99.0	100.6	101.3	108.5	108.1	99.2
	構成比 平成27年	〃	100.0	30.9	21.3	17.8	15.3	6.9	3.9	3.9	1.3
	28	〃	100.0	26.8	22.5	18.5	16.1	7.3	4.5	4.4	1.4
飼養頭数	実数 平成27年	千頭	2,465.0	46.3	82.0	138.9	269.7	274.9	308.1	1,346.0	907.1
	28	〃	2,457.0	36.6	79.6	138.0	257.1	272.0	334.3	1,339.0	884.4
	対前年比 28/27	%	99.7	79.0	97.1	99.4	95.3	98.9	108.5	99.5	97.5
	構成比 平成27年	〃	100.0	1.9	3.3	5.6	10.9	11.2	12.5	54.6	36.8
	28	〃	100.0	1.5	3.2	5.6	10.5	11.1	13.6	54.5	36.0

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

## イ 肉用種の目的別飼養頭数別飼養戸数

## (7) 子取り用めす牛

肉用種の子取り用めす牛を飼養している戸数は4万4,300戸で、肉用牛飼養戸数の86.0%となっている。

飼養頭数規模別にみると、前年に比べて20～49頭の階層で増加したものの、これ以外の階層では減少した。

表7 子取り用めす牛の飼養頭数規模別飼養戸数

区 分	肉用牛の飼養戸数	子 取 り 用 め す 牛 飼 養 頭 数 規 模							子取り用めす牛なし
		計	1～4頭	5～9	10～19	20～49	50～99	100頭以上	
実 数 平成27年	54,000	47,200	21,800	11,300	7,150	5,100	1,370	502	6,800
28	51,500	44,300	20,000	10,100	7,040	5,340	1,330	455	7,230
対前年比 28/27 (%)	95.4	93.9	91.7	89.4	98.5	104.7	97.1	90.6	106.3
構 成 比 平成27年 (%)	100.0	87.4	40.4	20.9	13.2	9.4	2.5	0.9	12.6
28	100.0	86.0	38.8	19.6	13.7	10.4	2.6	0.9	14.0

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

## (1) 肥育用牛

肉用種の肥育用牛を飼養している戸数は8,330戸で、肉用牛飼養戸数の16.2%となっている。

飼養頭数規模別にみると、前年に比べて10～19頭、50～99頭、100～199頭及び200頭以上の階層で減少したものの、これ以外の階層では増加した。

表8 肥育用牛の飼養頭数規模別飼養戸数

区 分	肉用牛の飼養戸数	肥 育 用 牛 飼 養 頭 数 規 模									肥育用牛なし
		計	1～9頭	10～19	20～29	30～49	50～99	100～199	200頭以上	500頭以上	
実 数 平成27年	54,000	8,210	2,690	1,010	639	802	1,230	995	852	281	45,800
28	51,500	8,330	3,000	923	717	823	1,100	949	817	246	43,200
対前年比 28/27 (%)	95.4	101.5	111.5	91.4	112.2	102.6	89.4	95.4	95.9	87.5	94.3
構 成 比 平成27年 (%)	100.0	15.2	5.0	1.9	1.2	1.5	2.3	1.8	1.6	0.5	84.8
28	100.0	16.2	5.8	1.8	1.4	1.6	2.1	1.8	1.6	0.5	83.9

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

## ウ 乳用種の飼養頭数規模別飼養戸数

肉用の乳用種（乳産牛は除く。）を飼養している戸数は5,040戸で、肉用牛飼養戸数の9.8%となっている。

飼養頭数規模別にみると、前年に比べて5～19頭及び200頭以上の階層で増加したものの、これ以外の階層では減少した。

表9 乳用種の飼養頭数規模別飼養戸数

区 分	肉用牛の飼養戸数	乳 用 種 飼 養 頭 数 規 模								乳用種なし
		計	1～4頭	5～19	20～49	50～99	100～199	200頭以上	500頭以上	
実 数 平成27年	54,000	5,320	1,840	927	521	535	544	947	415	48,700
28	51,500	5,040	1,560	968	503	422	463	1,130	488	46,500
対前年比 28/27 (%)	95.4	94.7	84.8	104.4	96.5	78.9	85.1	119.3	117.6	95.5
構 成 比 平成27年 (%)	100.0	9.9	3.4	1.7	1.0	1.0	1.0	1.8	0.8	90.2
28	100.0	9.8	3.0	1.9	1.0	0.8	0.9	2.2	0.9	90.3

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

### (3) 肉用牛飼養者の飼料作物作付戸数と実面積の状況

肉用牛飼養者のうち、調査期日前の1年間に飼料作物を作付けした戸数は4万2,400戸で肉用牛飼養者の82.3%となっており、飼料作物作付実面積は19万5,700haとなっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道及び九州で肉用牛飼養者の約9割が飼料作物を作付けしている。

図7 肉用牛飼養者の飼料作物作付戸数割合（全国農業地域別）

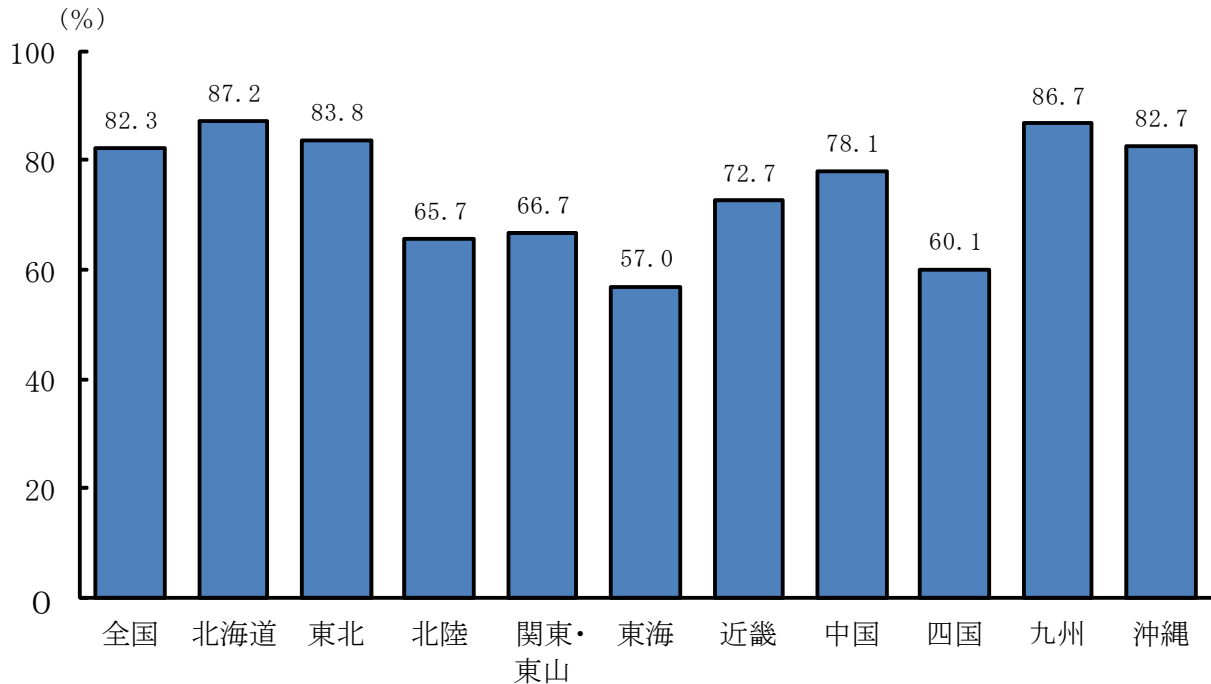


表10 肉用牛飼養者の飼料作物作付戸数・実面積（全国農業地域別）

区 分	飼養戸数	飼料作物作付戸数	飼料作物作付戸数割合	経営耕地面積	飼料作物作付実面積
	戸	戸	%	ha	ha
全 国	51,500	42,400	82.3	262,500	195,700
北 海 道	2,580	2,250	87.2	103,200	85,900
東 北	13,600	11,400	83.8	68,000	38,600
北 陸	405	266	65.7	1,710	910
関 東・東 山	3,240	2,160	66.7	12,000	7,640
東 海	1,170	667	57.0	2,190	1,490
近 畿	1,650	1,200	72.7	2,200	1,260
中 国	2,880	2,250	78.1	7,110	4,000
四 国	766	460	60.1	1,140	670
九 州	22,600	19,600	86.7	58,600	49,600
沖 縄	2,600	2,150	82.7	6,350	5,590

注:この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。



#### (4) 肉用牛の放牧状況

肉用牛飼養者のうち、調査期直前の1年間に肉用牛の放牧を行った戸数は6,530戸で、肉用牛飼養者の12.7%となっている。

これを全国農業地域別にみると、北海道では約4割の肉用牛飼養者が放牧を行っており、その他の地域を大きく上回っている。

図8 肉用牛飼養者の放牧実施戸数割合（全国農業地域別）

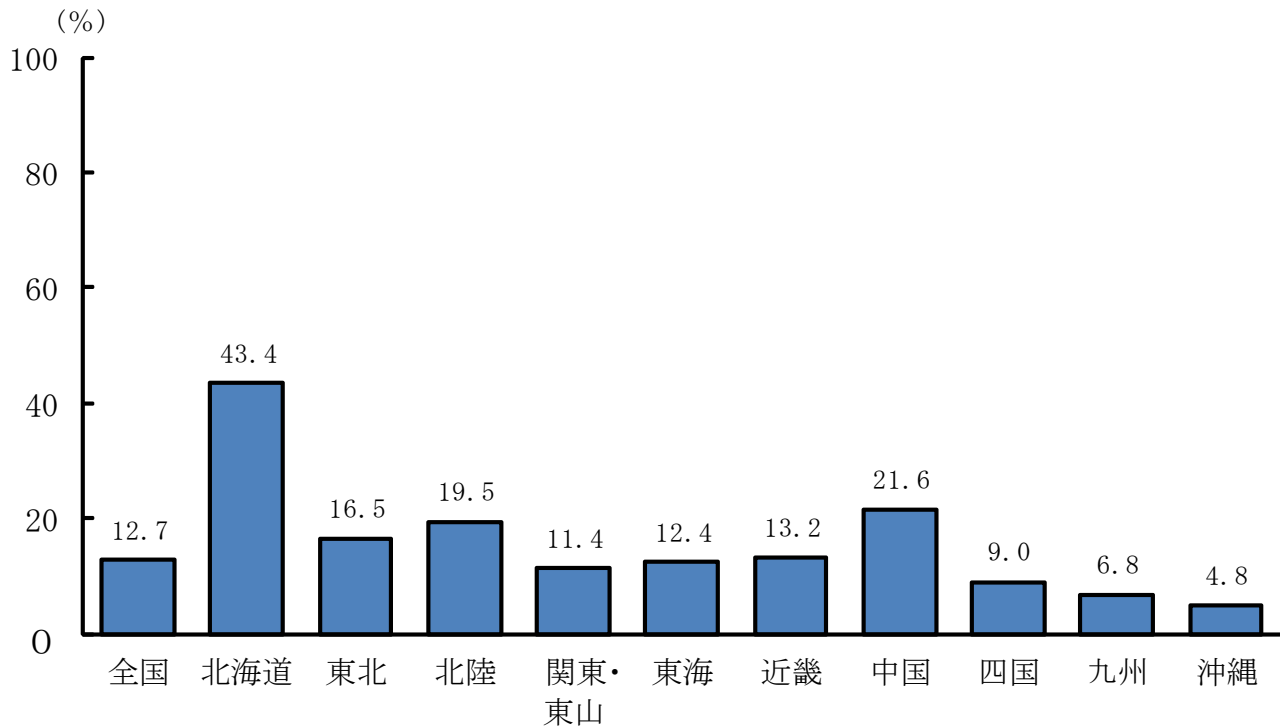


表11 肉用牛の放牧状況（全国農業地域別）

区分	飼養戸数	放牧をしている戸数	放牧実施戸数割合	放牧頭数
	戸	戸	%	頭
全国	51,500	6,530	12.7	91,800
北海道	2,580	1,120	43.4	41,600
東北	13,600	2,240	16.5	18,300
北陸	405	79	19.5	440
関東・東山	3,240	369	11.4	3,620
東海	1,170	145	12.4	1,120
近畿	1,650	217	13.2	2,810
中国	2,880	622	21.6	6,540
四国	766	69	9.0	510
九州	22,600	1,540	6.8	13,300
沖縄	2,600	126	4.8	3,650

注:この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

### 3 豚

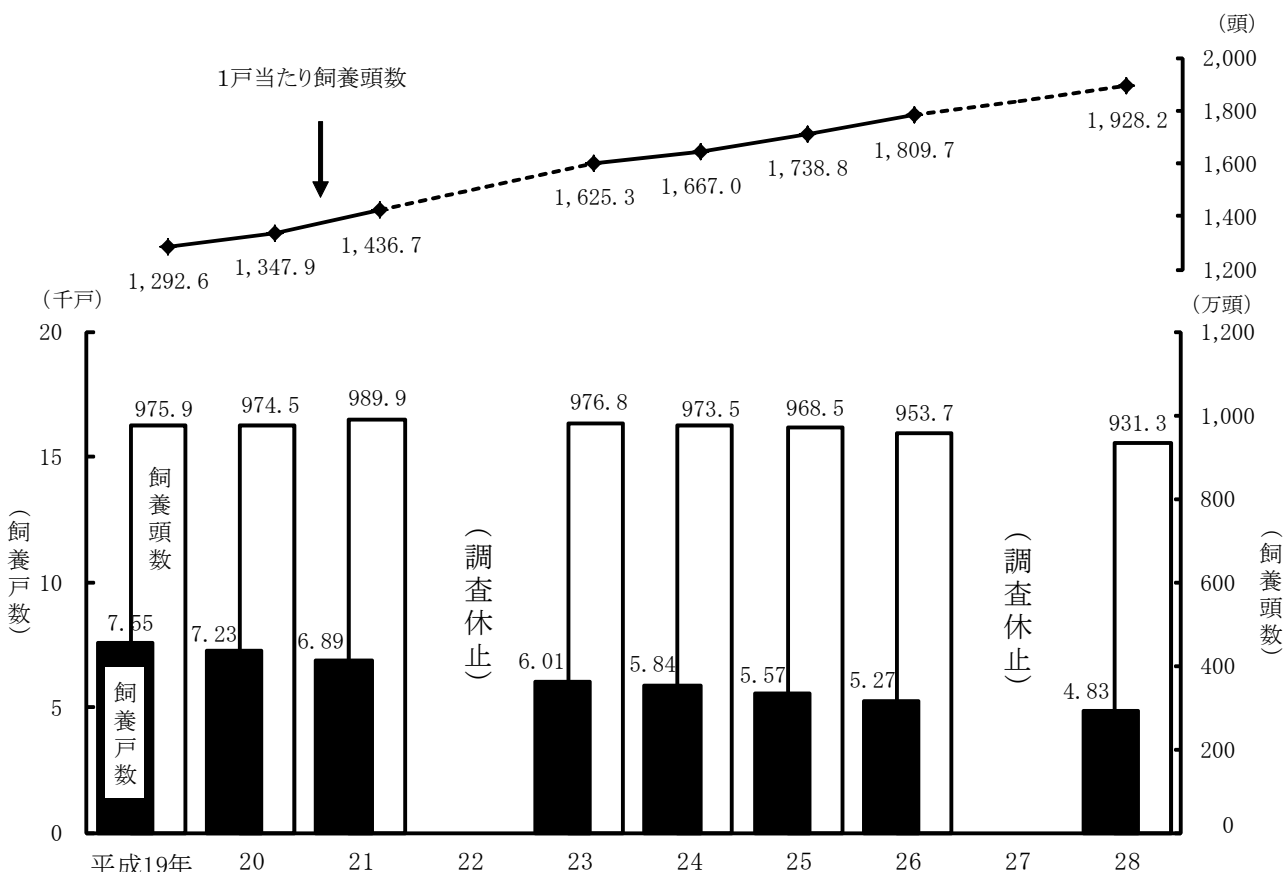
#### (1) 飼養戸数・頭数

平成28年の全国の豚の飼養戸数は4,830戸で、廃業等により前々年に比べて440戸（8.3%）減少した。

飼養頭数は931万3,000頭で、前々年に比べて22万4,000頭（2.3%）減少した。飼養頭数の内訳をみると、子取り用めす豚は84万4,700頭で前々年に比べて4万600頭（4.6%）減少し、肥育豚は774万3,000頭で前々年に比べて27万7,000頭（3.5%）減少した。

なお、1戸当たり飼養頭数は1,928.2頭で前々年に比べて118.5頭増加し、1戸当たり子取り用めす豚飼養頭数は214.4頭で前々年に比べて8.0頭増加した。

図9 豚の飼養戸数・頭数の推移



注：平成22年は2010年世界農林業センサス、平成27年は2015年農林業センサス実施年のため、調査を休止した。

表12 豚の飼養戸数・頭数

区分	飼養戸数 戸	子取り用めす豚の いる戸数 戸	飼 養 頭 数					1戸当たり 飼養頭数 頭	子取り用 めす豚 頭
			計 千頭	子取り用 めす豚 千頭	種おす豚 千頭	肥育豚 千頭	その他 千頭		
実数									
平成25年	5,570	4,620	9,685.0	899.7	49.1	8,106.0	629.5	1,738.8	194.7
26	5,270	4,290	9,537.0	885.3	47.5	8,020.0	583.3	1,809.7	206.4
28	4,830	3,940	9,313.0	844.7	42.6	7,743.0	682.5	1,928.2	214.4
対前々年比									
28/26 (%)	91.7	91.8	97.7	95.4	89.7	96.5	117.0	-	-
構成比									
平成25年 (%)	100.0	82.9	100.0	9.3	0.5	83.7	6.5	-	-
26	100.0	81.4	100.0	9.3	0.5	84.1	6.1	-	-
28	100.0	81.6	100.0	9.1	0.5	83.1	7.3	-	-

(2) 肥育豚飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

肥育豚飼養頭数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）にみると、飼養戸数は前々年に比べて全ての階層で減少した。

また、飼養頭数は前々年に比べて100～299頭の階層で前回並み、1,000～1,999頭の階層で3.1%増加したものの、これ以外の階層では減少した。

なお、2,000頭以上の階層で飼養頭数の約7割を占めている。

図10 豚の肥育豚飼養頭数規模別飼養戸数・頭数の構成比

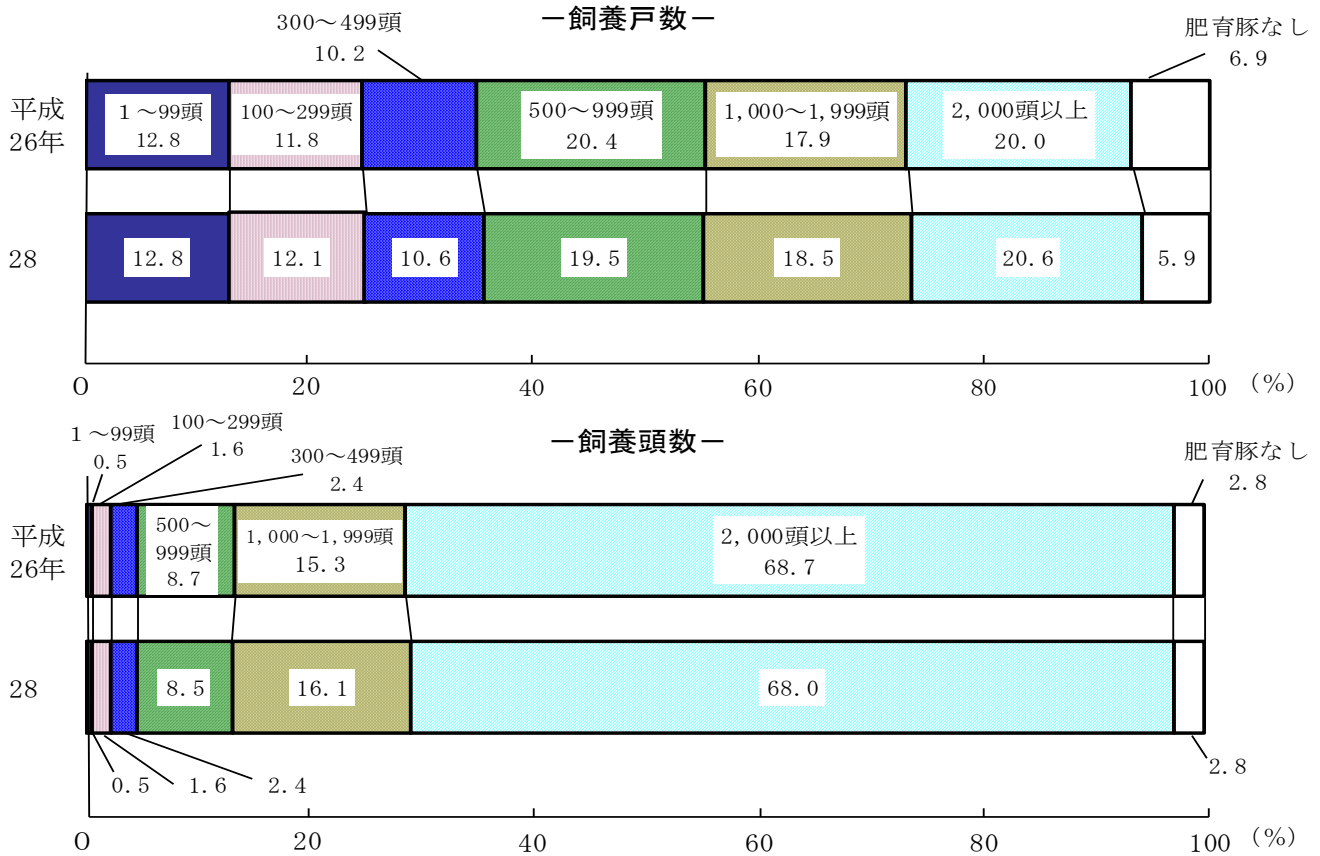


表13 豚の肥育豚飼養頭数規模別飼養戸数・頭数

区分	単位	計	肥育豚飼養頭数規模								肥育豚なし		
			小計	1～99頭	100～299	300～499	500～999	1,000～1,999	2,000頭以上	3,000頭以上			
飼養戸数													
実数	平成26年	戸	5,110	4,750	654	604	521	1,040	915	1,020	640	354	
	28	戸	4,670	4,400	600	566	494	909	866	961	630	276	
対前々年比	28/26	%	91.4	92.6	91.7	93.7	94.8	87.4	94.6	94.2	98.4	78.0	
構成比	平成26年	戸	100.0	93.0	12.8	11.8	10.2	20.4	17.9	20.0	12.5	6.9	
	28	戸	100.0	94.2	12.8	12.1	10.6	19.5	18.5	20.6	13.5	5.9	
飼養頭数													
実数	平成26年	千頭	9,499.0	9,231.0	51.2	150.8	224.9	823.9	1,452.0	6,528.0	5,463.0	268.3	
	28	千頭	9,273.0	9,015.0	47.0	150.8	220.7	790.9	1,497.0	6,309.0	5,447.0	257.9	
対前々年比	28/26	%	97.6	97.7	91.8	100.0	98.1	96.0	103.1	96.6	99.7	96.1	
構成比	平成26年	千頭	100.0	97.2	0.5	1.6	2.4	8.7	15.3	68.7	57.5	2.8	
	28	千頭	100.0	97.2	0.5	1.6	2.4	8.5	16.1	68.0	58.7	2.8	

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

#### 4 採卵鶏

##### (1) 飼養戸数・羽数

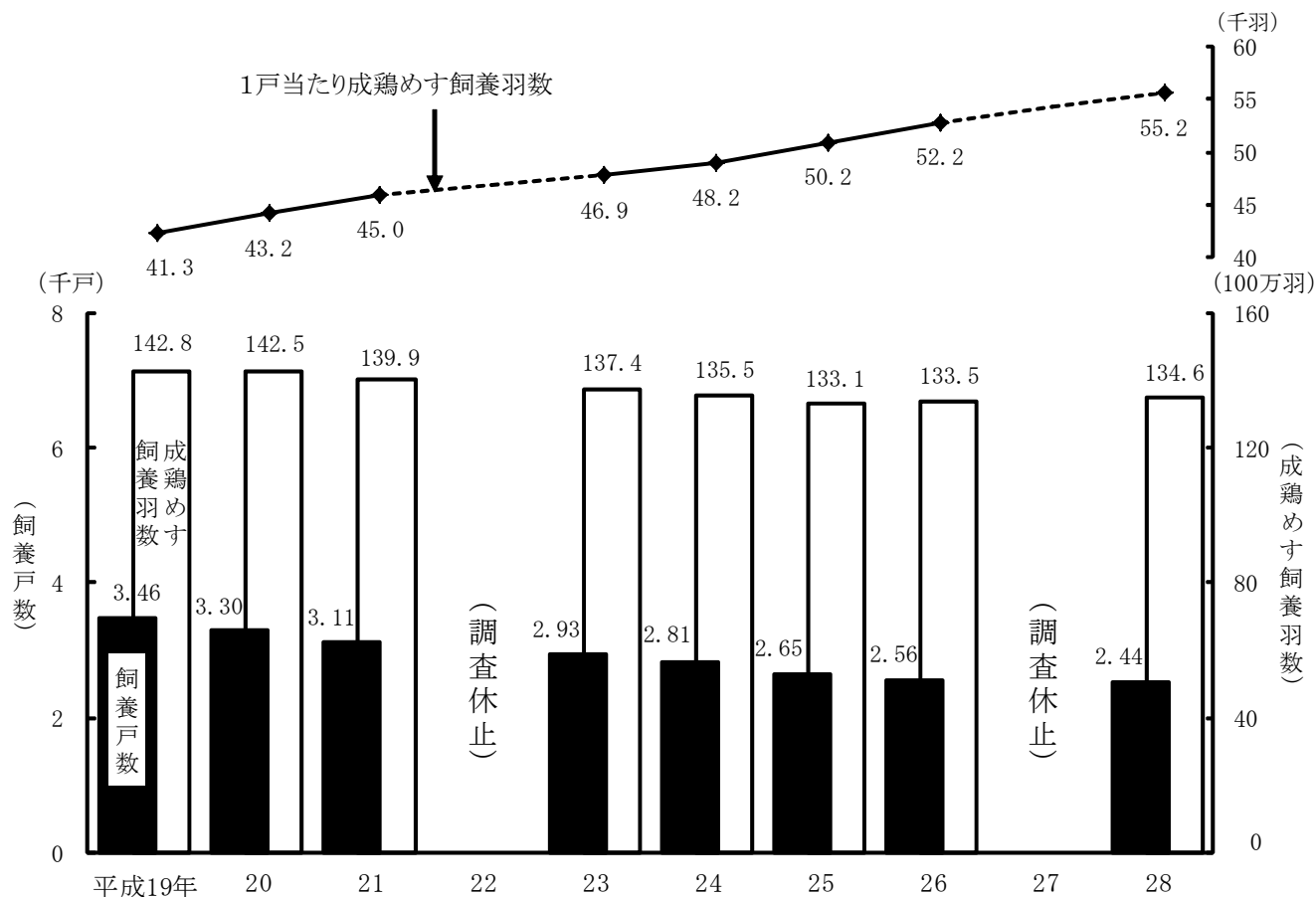
平成28年の全国の採卵鶏の飼養戸数は2,440戸で、廃業等により前々年に比べて120戸(4.7%)減少した。

採卵鶏(種鶏を除く。)の飼養羽数は1億7,334万9,000羽で、前々年に比べて100万羽(0.6%)増加した。

このうち、成鶏めすの飼養羽数は1億3,456万9,000羽で、前々年に比べて106万3,000羽(0.8%)増加した。

なお、1戸当たり成鶏めす飼養羽数は5万5,200羽で前々年に比べて3,000羽増加した。

図11 採卵鶏の飼養戸数・羽数の推移



注：平成22年は2010年世界農林業センサス、平成27年は2015年農林業センサス実施年のため、調査を休止した。

表14 採卵鶏の飼養戸数・羽数

区分	採卵鶏の飼養戸数	飼養羽数			1戸当たり成鶏めす飼養羽数
		計	採卵鶏 (種鶏を除く。)	成鶏めす (6か月以上)	
	戸	千羽	千羽	千羽	千羽
実数					
平成25年	2,650	174,784	172,238	133,085	2,546
26	2,560	174,806	172,349	133,506	2,457
28	2,440	175,733	173,349	134,569	2,384
対前々年比					
28/26 (%)	95.3	100.5	100.6	100.8	97.0
構成比					
平成25年 (%)	-	100.0	98.5	76.1	1.5
26	-	100.0	98.6	76.4	1.4
28	-	100.0	98.6	76.6	1.4

注：採卵鶏の飼養戸数には、種鶏のみの飼養者及び成鶏めす1,000羽未満の飼養者を含めていない。

(2) 成鶏めす飼養羽数規模別飼養戸数・成鶏めす飼養羽数

成鶏めす飼養羽数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）にみると、飼養戸数は前々年に比べて100,000羽以上の階層で7.1%増加したものの、これ以外の階層では減少した。

また、飼養羽数は前々年に比べて100,000羽以上の階層で6.3%増加したものの、これ以外の階層では減少した。

なお、100,000羽以上の階層で飼養羽数の7割を占めている。

図12 成鶏めす飼養羽数規模別飼養戸数・成鶏めす飼養羽数の構成比

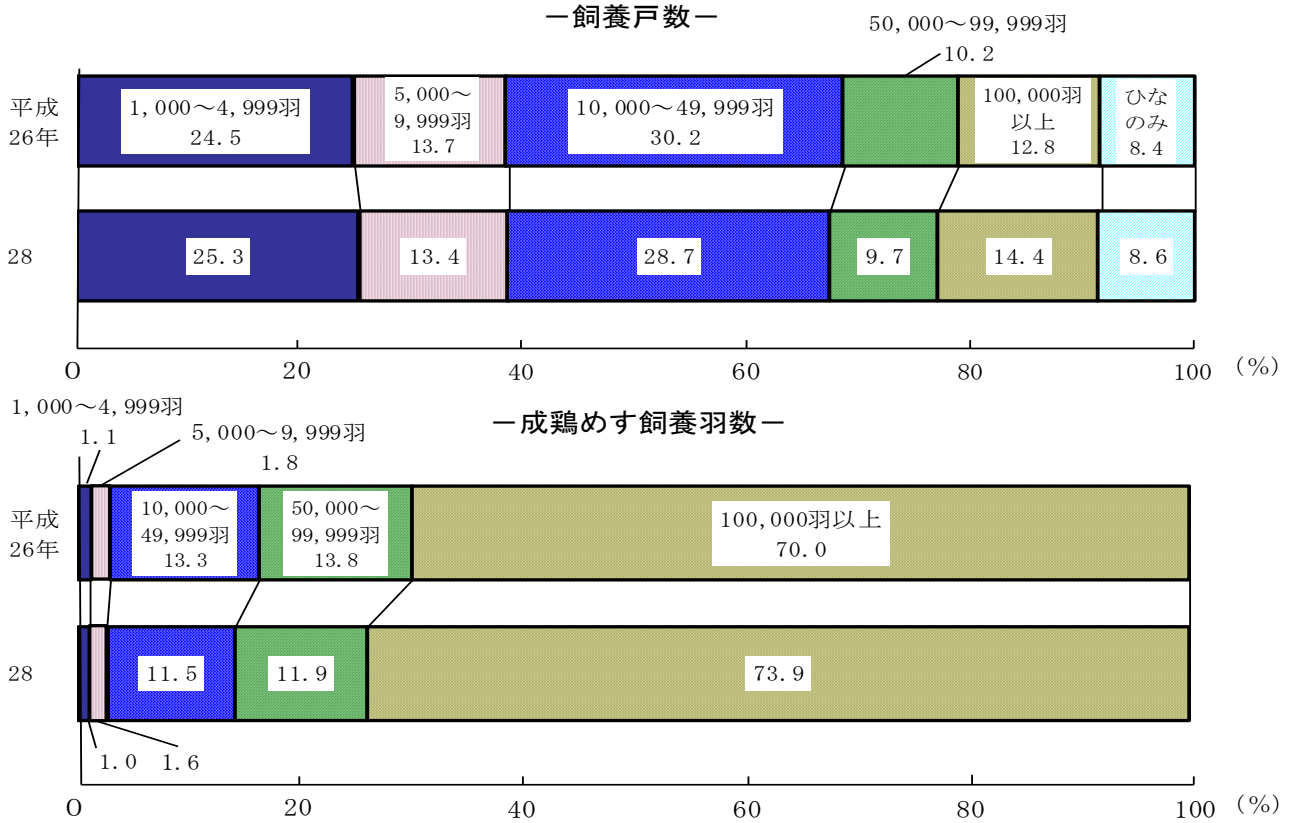


表15 成鶏めす飼養羽数規模別飼養戸数・成鶏めす飼養羽数

区 分	単 位	計	成鶏めす飼養羽数規模					ひなのみ	
			1,000～4,999	5,000～9,999	10,000～49,999	50,000～99,999	100,000羽以上		
飼養戸数	実数 平成26年	戸	2,540	622	348	767	260	324	214
	28	"	2,410	609	324	692	233	347	207
	対前々年比 28/26	%	94.9	97.9	93.1	90.2	89.6	107.1	96.7
	構成比 平成26年	"	100.0	24.5	13.7	30.2	10.2	12.8	8.4
28	"	100.0	25.3	13.4	28.7	9.7	14.4	8.6	
成鶏めす飼養羽数	実数 平成26年	千羽	133,453	1,489	2,363	17,735	18,390	93,476	-
	28	"	134,519	1,365	2,186	15,528	16,045	99,395	-
	対前々年比 28/26	%	100.8	91.7	92.5	87.6	87.2	106.3	-
	構成比 平成26年	"	100.0	1.1	1.8	13.3	13.8	70.0	-
28	"	100.0	1.0	1.6	11.5	11.9	73.9	-	

注：この表には学校、試験場等の非営利的な飼養者は含まない。

## 5 ブロイラー

### (1) 飼養戸数・羽数

平成28年の全国のブロイラーの飼養戸数は2,360戸で、廃業等により前々年に比べて20戸(0.8%)減少した。

飼養羽数は1億3,439万5,000羽で、前々年に比べて135万2,000羽(1.0%)減少した。

なお、1戸当たり飼養羽数は5万6,900羽で、前々年に比べて100羽減少した。

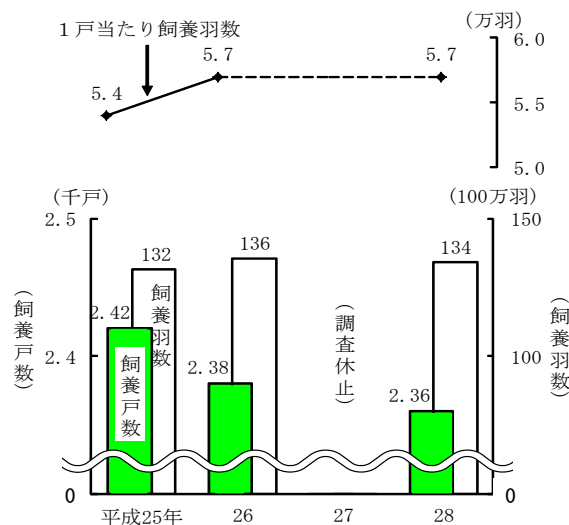
### (2) 出荷戸数・羽数

出荷戸数は2,360戸で、廃業等により前々年に比べて50戸(2.1%)減少した。

出荷羽数は6億6,743万8,000羽で、前々年に比べて1,499万7,000羽(2.3%)増加した。

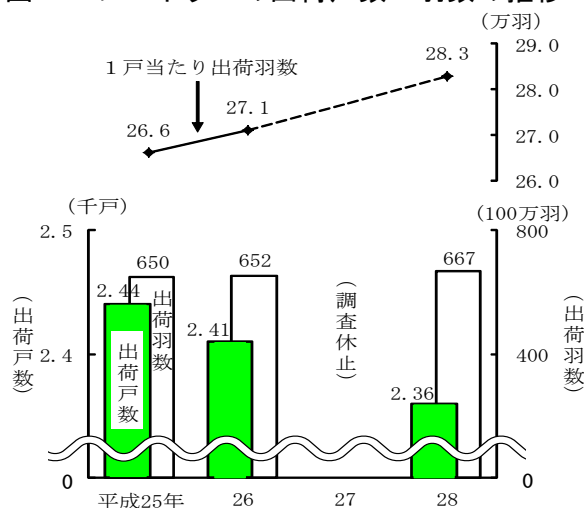
なお、1戸当たり出荷羽数は28万2,800羽で、前々年に比べて1万2,100羽増加した。

図13 ブロイラーの飼養戸数・羽数の推移



注：平成27年は2015年農林業センサス実施年のため、調査を休止した。

図14 ブロイラーの出荷戸数・羽数の推移



注：平成27年は2015年農林業センサス実施年のため、調査を休止した。

表16 ブロイラーの飼養戸数・羽数及び出荷戸数・羽数

区分	飼養戸数	飼養羽数	1戸当たり飼養羽数	出荷戸数	出荷羽数	1戸当たり出荷羽数
	戸	千羽	千羽	戸	千羽	千羽
実数						
平成25年	2,420	131,624	54.4	2,440	649,778	266.3
26	2,380	135,747	57.0	2,410	652,441	270.7
28	2,360	134,395	56.9	2,360	667,438	282.8
対前々年比						
28/26(%)	99.2	99.0	-	97.9	102.3	-

注：1 ブロイラーの飼養・出荷戸数には、ブロイラーの出荷羽数年間3,000羽未満の飼養者を含めていない。

飼養・出荷羽数は、年間出荷羽数3,000羽以上の飼養者の飼養・出荷羽数である。

2 2月1日現在で飼養のない場合でも、過去1年間に3,000羽以上の出荷があれば出荷戸数に含めている。

(3) ブロイラーの出荷羽数規模別出荷戸数・出荷羽数

出荷羽数規模別（学校、試験場等の非営利的な飼養者を除く。）にみると、出荷戸数は前々年に比べて50,000～99,999羽の階層で8.4%、300,000～499,999羽の階層で9.4%、500,000羽以上の階層で15.7%増加したものの、これ以外の階層では減少した。

また、出荷羽数は前々年に比べて50,000～99,999羽の階層で8.0%、300,000～499,999羽の階層で5.5%、500,000羽以上の階層で8.5%増加したものの、これ以外の階層では減少した。

なお、出荷羽数は、500,000羽以上の階層が約4割を占めている。

図15 ブロイラーの出荷羽数規模別出荷戸数・出荷羽数の構成比

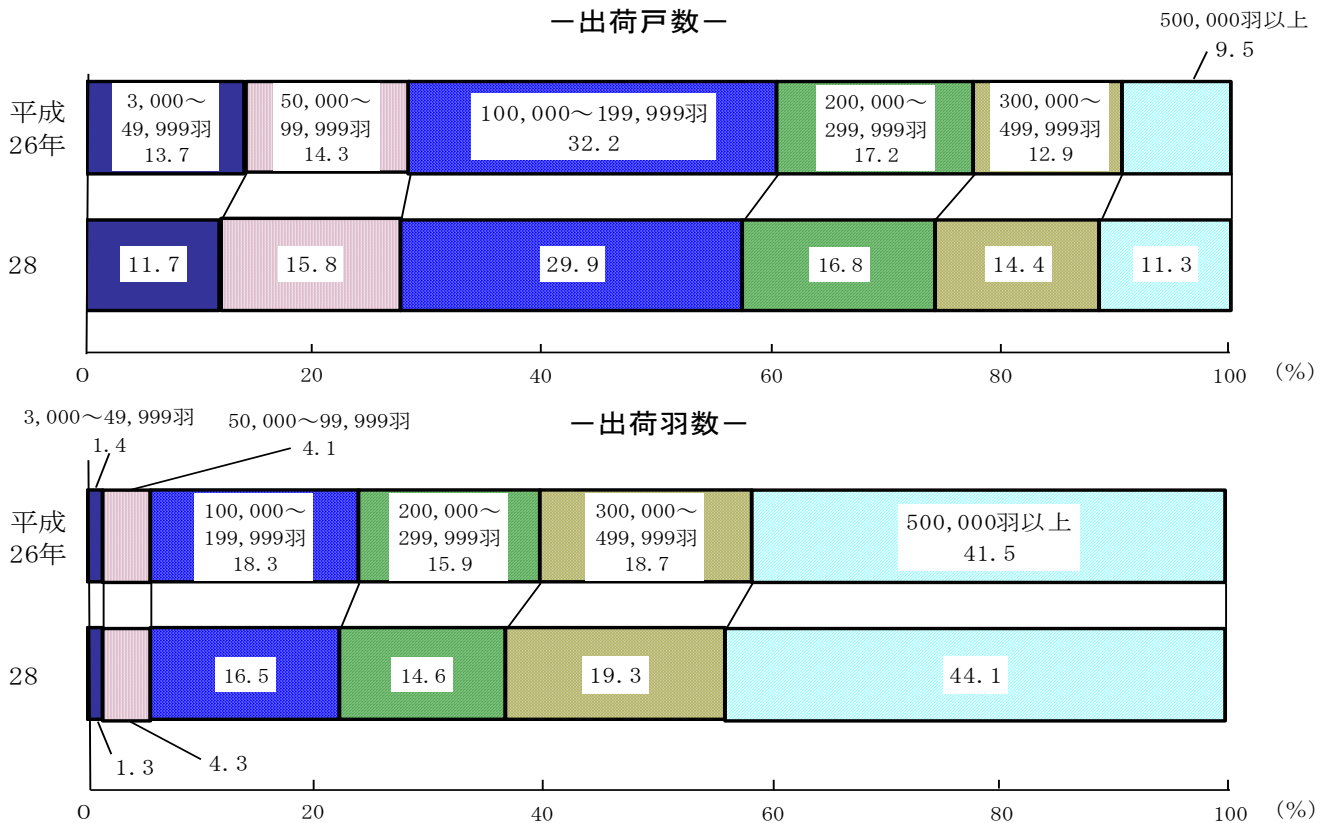


表17 ブロイラーの出荷羽数規模別出荷戸数・出荷羽数

区分	単位	計	3,000～49,999羽	50,000～99,999	100,000～199,999	200,000～299,999	300,000～499,999	500,000羽以上
出荷戸数								
実数 平成26年	戸	2,410	331	345	776	415	310	230
28	〃	2,360	276	374	706	396	339	266
対前々年比 28/26	%	97.9	83.4	108.4	91.0	95.4	109.4	115.7
構成比 平成26年	〃	100.0	13.7	14.3	32.2	17.2	12.9	9.5
28	〃	100.0	11.7	15.8	29.9	16.8	14.4	11.3
出荷羽数								
実数 平成26年	千羽	652,429	9,234	26,577	119,596	103,977	122,074	270,971
28	〃	667,422	8,483	28,710	109,947	97,404	128,740	294,138
対前々年比 28/26	%	102.3	91.9	108.0	91.9	93.7	105.5	108.5
構成比 平成26年	〃	100.0	1.4	4.1	18.3	15.9	18.7	41.5
28	〃	100.0	1.3	4.3	16.5	14.6	19.3	44.1

注：この表には、学校、試験場等の非営利的組織を含まない。